

年度「2019年度シラバス」、フォルダ「名古屋校舎-協定留学生(日本語コース)」
シラバスの詳細は以下となります。

ナンバリング			
科目名	日本語Ⅳ		
担当教員	佐々木 八寿子		
対象学年		クラス	C
講義室	L703	開講学期	春学期
曜日・時限	水1	単位区分	
科目種別		単位数	
準備事項			
備考			
テーマ Theme	文法・語彙力を定着させ、上級への総合的な日本語力をさらに伸ばす。		
概要 Synopsis	テキスト『新・中級から上級への日本語』の「文法・語彙練習」を使用し、「中級」までで培った力を引き出し活用させつつ、「上級」レベルを目指す読解作業を進める中で柱になる「文法・語彙」に焦点を当てる。具体的には、文法・語彙についての練習問題を解きながら、学習内容を振り返って定着させ、さらに応用・発展させる力を養う。		
到達目標 Aim	各ユニットの学習内容のうち、特に「文法・語彙力」の定着・応用・発展に上級到達の目標を置く。能力試験2級到達のレベルを目指す。		
授業形態 Class style	一斉・個人指導		
使用言語 Language(s)	1. 【 】 日本語のみ Japanese only 2. 【○】 日本語と外国語 Japanese and foreign language(s) 3. 【 】 外国語(日本語以外)のみ Foreign language(s) other than Japanese		
アクティブ・ラーニング Active Learning	1. 【 】 PBL(課題解決型学習) Project-based learning 2. 【 】 ディスカッション、ディベート Discussion , Debate 3. 【○】 グループワーク Group work 4. 【○】 プレゼンテーション Presentation 5. 【 】 実習、フィールドワーク Applied practice , Fieldwork		
内容・スケジュール Contents, schedule	1. オリエンテーション ユニット1 2. ユニット2 3. ユニット1・2 4. ユニット3 5. ユニット4 6. ユニット3・4 7. ユニット5 8. ユニット6 9. ユニット5・6 10. ユニット7 11. ユニット8 12. ユニット7・8 13. ユニット9 14. ユニット10 15. ユニット9・10		
準備学習・事後学習 Preparation, review	予習・復習をしっかりと行うこと。		
学外授業 Outside activities	なし		
成績評価の方法と基準 Evaluation&criteria	復習テスト(50%)・作文(20%)・授業参加態度(30%)		
	1. 【 】 定期試験期間中に筆記試験を実施する。An exam will be held during the exam period.		

定期試験期間中の試験実施方法 Exam period	2.【 】定期試験期間中に単位レポートを課す。A report must be submitted during the exam period. 3.【○】定期試験期間中には筆記試験・単位レポートを実施しない。No exams or report are required during the exam period.
テキスト Textbooks	The Japan Times出版『新・中級から上級への日本語』
参考図書 References	
関連する科目、履修者への要望など Requests,etc.	学習方法や宿題の遵守
リンク Link	